

○自殺総合対策事業概要

資料2-2

	平成29年度 (新規・継続・拡充)	事業名	事業概要	実績		
				平成26年度	平成27年度	平成28年度(1月末現在)
相談支援事業	継続	こころといのちの寄り添い支援(自殺未遂者再企図防止)事業	救命救急センター・救急指定病院等・消防・警察・生活保護担当者からの紹介により、自殺未遂者本人及び家族等に対して、相談・訪問等を行う。	実人数:33名 延件数:653件	実人数:35名 延件数:1,232件	実人数:42名 延件数:783件
	継続	くらしとこころの総合相談会	こころの健康や借金に関する相談等について、弁護士、薬剤師、保健師、精神保健福祉士などによるワンストップの総合相談会を行う。	実人数:76名	実人数:71名	実人数:65名
	継続	こころといのちのホットライン事業	平日の日中に相談することが困難な市民を対象に、夜間や休日時間外の電話相談窓口を開設する。	延件数:7,033件	延件数:7,986件	延件数:7,156件
	拡充	こころの相談ダイヤル	深夜等の時間帯に、業者委託の電話相談を加え、24時間365日で電話相談窓口を開設する。 【平成29年度】回線を1回線から2回線に増設	—	延件数:869件	延件数:1,265件
事業推進体制	継続	自殺対策協議会	自殺防止対策に関わる関係機関・団体等で構成する自殺対策協議会を設置し、自殺総合対策の推進を図る。	開催回数:1回 出席委員数:21名	開催回数:1回 出席委員数:20名	開催回数:1回 出席委員数:17名
	継続	若年層における自殺対策作業部会	若年層における現状や課題等の協議検討を行い、自殺対策の強化を図る。 【平成28年度 検討テーマ】 ・大学生向け人材育成プログラムの開発及び研修会の実施について 【平成29年度 検討テーマ】 ・自殺予防ゲートキーパー養成のためのワークブックの作成及び若年層における支援者向け研修会の実施について	開催回数:1回 出席委員数:2名	開催回数:1回 出席委員数:2名	開催回数:3回 出席委員数:6名
	継続	自殺対策実務者ネットワーク会議	自殺予防対策に取り組む関係機関・団体との連携体制の強化を図り、関係機関団体との顔の見えるネットワークを構築するとともに、協働に実施できる事業について、企画・検討等を行う。	開催回数:8回 参加者数:105名	開催回数:7回 参加者数:83名	開催回数:5回 参加者数:78名
人材育成事業	継続	自殺予防ゲートキーパー養成研修会	若年層支援者向け研修会及び教育委員会と連携した教師向け研修会を実施する。	市民向け:3回 参加者数:422名	大学生向け:1回 参加者数:15名	大学生向け:2回1コース 参加者数:(実)11名 (延)22名 教師向け:1回 参加者数:約350名
	継続	自殺対策研修会(医療・福祉関係者向け)	医療・福祉関係者等を対象に、自殺防止に関する知識の理解及び地域のネットワークのさらなる構築を図るため研修会を実施する。	開催回数:1回 参加者数:87名	開催回数:1回 参加者数:129名	開催回数:1回 参加者数:111名
	継続	庁内職員向け研修会	市の窓口職員を対象に、自殺のリスクの高い人接する際の「気づき」や「接し方」等について知識の向上を図るため研修会を実施する。	—	—	開催回数:1回 参加者数:24名
普及啓発事業	継続	事業場における啓発普及	平成26年度に実施した「小規模事業場におけるメンタルヘルス対策実態把握調査」の結果を受け、事業場における啓発資材の作成及び配布を行い、コミュニケーションの促進を図る。 【平成27年度】 職場におけるコミュニケーションの促進を図るための啓発ポスターの作成及び配布 【平成28年度】 職場の同僚への声かけ等を中心としたクリアファイルの作成及び配布	・働き盛りの年代における自殺対策作業部会の開催 ・小規模事業場におけるメンタルヘルス対策実態把握調査の実施	・働き盛りの年代における自殺対策作業部会での啓発資材の検討 ・事業場向け啓発ポスター作成:6,000枚	・事業場向けクリアファイル作成:10,000枚
	継続	自殺防止街頭キャンペーン	広く市民に、自殺予防の啓発を行うため、啓発グッズの配布や相談窓口などの周知を図る。 配布場所:新潟駅前広場 配布時間:午前8時から	平成26年9月1日実施 1,000セット配布	平成27年9月4日実施 700セット配布	平成28年9月2日実施 1,000セット配布
民間団体補助	継続	いのちの電話補助金	新潟いのちの電話の活動及び人材育成に係る経費について、一部を補助し支援する。	団体経費の一部補助	団体経費の一部補助	団体経費の一部補助